



# 日動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番  
(公) 千葉 (22) 7207 番

9/10.2 No. 3470

## 勤乗勤改悪阻止

# 反撃にたとう

### JR体制打倒へ組織強化拡大を 定期大会二日目も活発な討論 新たな執行体制を確立する



争議団が並び一人ひとり近況と決意を表明・大会初日

大会二日目は八時四十分より再開され、はじめに清算事業団解雇者で争議団で頑張っている多田正雄さん(銚子支部)から「戦列復帰まで闘いぬく」という力強いあいさつをうけた。その後執行部より方針案・予算案・規約規則の改正が提案され、質疑に入り、十一名の代議員が発言に立った。

その内容は、「新小岩」組合費の徴収表は資料をはやく、社宅の入居と転居について、五五才の出向で問題がある、昇職試験での組合差別を許すな、制服の改善を。「総武」強制配転者の原職復帰について、JR総連の分裂とその後について。「佐倉」機関区の将来展望は、検修の要員増を、青年部の年齢について。「木更津」予科生について、解雇者の退職金の整理を。「京葉」組織強化について、解雇者賃金の引き上げの検討を。「銚子」解雇者の闘いは胸がつまる、支部での団結強化の取り組み。「千葉転」異常時の勤務の取扱いについて。「乗務員」勤乗勤は効率化が狙い、東労組もついにふれはじめた、「限定免許」の人も分科会へ。「営業」十一月八日分科会結成をもちとる。「幕張」三・六協定の扱いは。「幕張」検修の労働強化もすさまじい、財政面の危機感を職場に伝えて、昇進試験は面接に問題がある。

こうした発言が対して執行部からの答弁ののち、中野委員長が総括答弁にたつて、①新しい発想で、勤乗勤改悪阻止を突破口に闘いぬく、②反戦闘争に全力でたとう、③現場か

### 新たに選出された役員

役職名	氏名	年齢	職名	支部
執行委員長	中野洋	51	運転士	千葉運転区
執行副委員長	布施宇一	49	運転士	千葉運転区
書記長	田中康宏	35	車両係	津田沼
執行委員	水野正美	54	運転士	勝浦
"	山口敏雄	54	運転士	千葉運転区
"	白井敏行	47	運転士	千葉運転区
"	高石正博	45	運転士	津田沼
"	内山等	45	運転士	千葉運転区
"	山田雄一	33	車両係	幕張
"	川崎昌浩	32	車両係	津田沼
"	滝口誠	46	営業係	総武
"	赤羽根宣男	44	営業指導係	館山
"	佐藤博	41	営業指導係	総武
"	清水匠	36	事務係	佐倉
"	外山義章	32	営業指導係	京葉
"	大竹哲治	31	運転士	新小岩
特別執行委員	小倉邦夫	41	運転士	千葉運転区
"	佐藤正和	30	運転士	新小岩
(青年部長)				
会計監査員	小沢勇	33	車両係	幕張
"	寺本明生	27	運転士	新小岩
"	佐久間英雄	47	運転士	木更津

ら生まれかわるような生き生きとした組織・運動をつくらう、と三本の柱をあきらかにし、団結して闘うことを訴えた。スローガン、方針などを一括採択したのち、スト権一票投票を行い、賛成四一票反対二票で圧倒的にスト権を確立した。さらに役員信任投票を行い、立候補した役員全員を信任した。

その後二本の特別決議そして大会宣言を採択し、新役員のおいさつ、組合歌合唱、中野委員長の音頭による団結ガンパローで大会は成功裡に終了した。

### 大会で採択された特別決議

- 自衛隊の海外派兵阻止、
- PKO法案粉碎にむけた決議
- 三里塚二期工事阻止、「公開シンポジウム」開催の策動を弾劾する決議



選出された新執行部・大会二日目